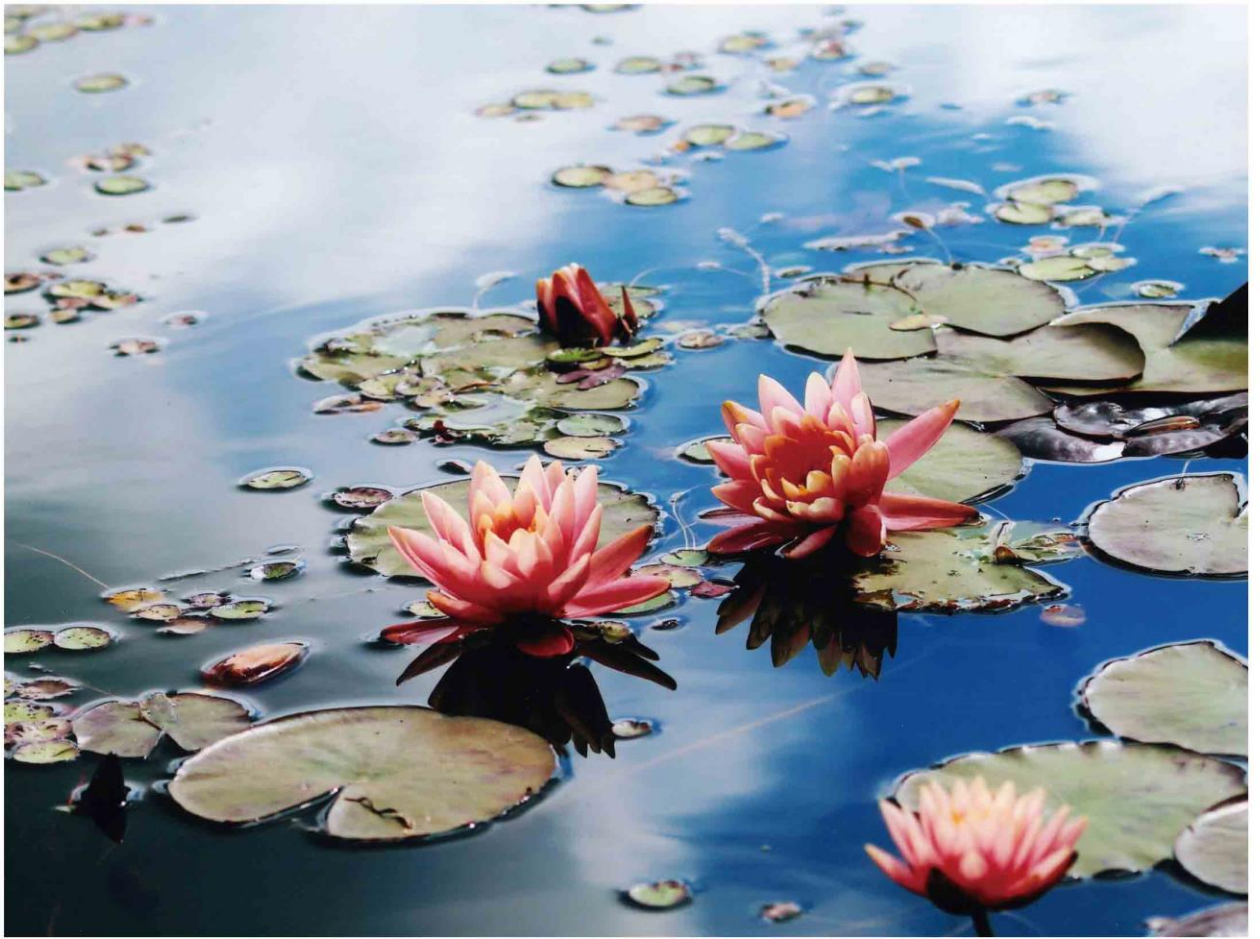


富山県 中央植物園だより



温帯スイレン *Nymphaea* cv. (スイレン科)

スイレン属の植物は世界中に生育しており、約50種の野生種が知られています。温帯スイレンとは、主に温帯性の地域に自生する原種を交配してつくられた品種を指します。植物園では6月から9月にかけて開花し、北池～中池を優しい色の花で彩ってくれます。 第24回私の植物写真展「青天を衝く」撮影/吉江 友秋さん

- Report** イベント報告「第11回さくらまつり」「第27回私の植物画展」
- Topic** 植物園裏話「食虫植物サラセニアの定植」
- News** 園内ニュース「植物園でドラマロケがありました！」
- Events** 今後の注目イベント「夏休み子ども企画 オオオニバスに乗ってみよう・森のクラフト」
「特別展 I 桐野秋豊ツバキ資料展— 八尾が生んだツバキ研究家」
- Note** 園内さんぽ「オシャレ? な虫」

Report イベント報告

第11回さくらまつり

4月7日から10日まで、第11回さくらまつりを開催しました。今年はソメイヨシノが7日の朝にちょうど満開になり、タイミングばっちりのさくらまつりとなりました。4日間天気も良く、気温も高かったため、多くの方が植物園を訪れ、花のpromenadeでお花見を楽しんでいらっしゃいました。夜間は例年通り、ソメイ



満開となったソメイヨシノ

ヨシノのライトアップを行いました。比較的風が少なかったため、ソメイヨシノが北池に綺麗に映し出されていました。また、サクラ・ウメ園のサクラ‘ミヤビ’やエドヒガン‘ヤエベニシダレ’についても、見頃に合わせてライトアップを行いました。濃い紅色の花と足元に咲く黄色い菜の花が暗闇によく映えていて、圧巻の美しさでした。(和久井 彬実)



サクラ‘ミヤビ’のライトアップ

第27回私の植物画展

5月13日から6月1日まで、サンライトホールで「私の植物画展」を開催しました。植物園では、開園当初から植物画の普及を行っており、植物画展は今年で27回目になります。今年には128点の作品が集まりました。植物画なので、すべての作品が植物を正確に精密に描いたものなのですが、同じ植物の絵でも花を見



今年も全国から力作が集まりました

る角度が異なっていたり、違う季節に描いていたりと、一つ一つの作品に書き手の方の工夫やこだわりが表れていました。また、5月21日と22日には、植物画家の豊田路子先生による植物画講習会もありました。約20名の方が参加され、一日目は草本、二日目は木本植物を題材に、じっくり植物と向き合って絵を描いていらっしゃいました。(和久井 彬実)



講習会は園内産の植物を使って行いました

Topic 植物園裏話

食虫植物サラセニアの定植

サラセニアは北アメリカ原産の食虫植物で、捕虫葉と呼ばれる筒状の葉をもつことが特徴です。捕虫葉の中には液体がたまっており、その中に落ちて溺れた虫から栄養を吸収します。富山県中央植物園では、サラセニア30種約500株を鉢植えて栽培しています。もともと温帯域に生育する植物であるため、富山では露地でも旺盛に生育し、2年程たつと株分けが必要になります。数年間にわたって株分けを続けた結果、とうとうバックヤード



バックヤードに所狭しと並ぶサラセニア

のサラセニア栽培エリアに入りきらなくなりました。鉢植えて旺盛に生育するサラセニアです。鉢から抜いて屋外に植えても上手く生育するのではないかと思います。屋外で定植を試みることにしました。サラセニアの生育環境である多湿で日当たりのよい場所を屋外展示園で探したところ、高山・絶滅危惧植物室と北池が接している小石がゴロゴロしている場所が適当であると判断し、令和4年2月に50株を植えました。5月には花が咲き、地表から幾つも捕虫葉を伸ばさせたことから、定植は上手くいったようです。屋外に定植したサラセニアは窮屈な鉢植よりもいきいきとしている感じがします。(兼本 正)



屋外に定植したサラセニア。広い場所でのびのび！

News 園内ニュース

植物園でドラマロケがありました！

富山県では2011年に富山県観光課内に富山県ロケーションオフィスが設置され、映画やドラマなど様々な作品のロケ誘致・撮影支援を行っています。ロケの候補地として、富山県中央植物園を含め22ヶ所がホームページで紹介されており、この度富山県中央植物園がとあるドラマのロケ地として選ばれました。撮影は令和4年4月28日の休園日に、サンライトホール前、ラン温室、花のpromenade、湿地の植物エリアの4箇所で行われました。早朝5時から様々な機材が運び込まれ、約80人の撮影スタッフの方がおよそ10時間にわたり撮影を行っていました。植物園の職員も、エキスト

ラとして3人が出演しました。まだドラマは編集段階のため、タイトルはお知らせできません



撮影の様子。皆さん早朝からお疲れ様です…。

が、人気少女漫画の実写版だそうです。配信される時期も未定だそうです。植物園の風景がドラマでどのように映されているのか、どこがどのようなシーンに使われているのか、楽しみです。(兼本 正)

Events 注目イベント

夏休み子ども企画

「オオオニバスに乗ってみよう」「森のクラフト」

植物園の夏といえば「オオオニバスに乗ってみよう」ですが、今年は8月5日(金)～7日(日)に開催します。オオオニバスの仲間は水面に浮かぶ巨大な葉を持ち、葉の裏には網の目状の葉脈があります。葉脈の中と葉脈に囲われた空間に空気をためることで大きな浮力が生じ、30kg程度までの子供が葉に乗ることができます。また、7月22日(金)～8月31日(水)には、マツボックリやどんぐりを使った工作ができる「森のクラフト」を開催します。夏休みの宿題にどうぞ！



パラグアイオニバスの浮力！！

(吉田 めぐみ)

特別展Ⅰ 桐野秋豊ツバキ資料展

一八尾が生んだツバキ研究家 9月9日～10月19日

桐野秋豊氏(1927 - 2015年)は富山県旧八尾町の出身で、30以上のツバキの新品種を発見・命名したほか、新品種の作出、中国やベトナムの野生ツバキの調査に精力的に取り組みました。晩年には日本ツバキ協会会長を務めておられます。この度ご家族から、桐野氏が生前収集したツバキ約250種類や2万5千枚以上の写真、精緻にまとめられたノートなどを譲り受けました。特別展Ⅰでは、ツバキ関連の資料を中心に紹介し、2023年3月には、特別展Ⅱでツバキの花を展示します。(志内 利明)



桐野秋豊氏

Note 園内さんぽ

オシャレ？な虫

5月初旬、園内のシナノキを何気なく見ていると、葉に8mmほどのイカつい虫が！一見ツノゼミのようですが、タケウチトゲアワフキというカメムシ目アワフキキムシ科の昆虫です。立派なツノは植物のトゲに擬態するためとも言われていますが、詳しくは分



タケウチトゲアワフキ

かっていません。通常アワフキムシの幼虫は樹液を吸い、排泄物を泡立てたもので身を守りながら成長しますが、この虫はシナノキ科の枝に硬い筒状の巣を作り、その中で成長します(写真右上)。全国でも分布が局所的であり、富山県では準絶滅危惧種に指定されています。(西村 幸芳)



幼虫の巣

Event Schedule

※新型コロナウイルスの感染状況によって開催内容を変更する場合があります。
※イベント参加には入園料が必要です。高校生以下・70歳以上無料。

企画展

7 20 (水)	環境省アクティブ・レンジャー 写真展—活かして護る国立公園 会場：サンライトホール
7 9 (金)・10 (日)	第7回夏のラン展 会場：ドリアスホール
9 9 (金) → 10 19 (水)	特別展 I 桐野秋豊ツバキ資料展 —八尾が生んだツバキ研究家 会場：サンライトホール



講演会・講習会・観察会

7 22 (金) → 8 31 (水)	夏休み子ども企画「森のクラフト」 会場：サンライトホール
8 5 (金) → 7 (日)	夏休み子ども企画「オオオニバス に乗ってみよう」 会場：北池 各日 午前 9:30 ~ 午後 13:30 ~
9 9 (金)	特別展オープニング解説 会場：サンライトホール 13:30 ~ 14:30
9 25 (日)	栽培講習会「ツバキの栽培と管理」 会場：ドリアスホール 13:00 ~ 15:30
10 2 (日)	第30回 TOYAMA 植物フォーラム 会場：管理研修棟 研修室 13:30 ~ 16:00 ※要申込

特別開園・夜間開園

7月の開花日2日間	夜間開園「ゲッカビジン観賞」 19:00 ~ 21:30 夜間入園料：250円
8 19 (金) → 20 (土)	夜間開園「夜の熱帯植物探検」 18:30 ~ 21:30 夜間入園料：250円

月例行事

植物ガイド

第1, 2, 4, 5日曜日：ボランティアと歩く植物園
第3日曜日：園長と歩く植物園
13:30 ~ 14:00 集合場所：サンライトホール

Information

入園案内

[開園時間] 2月~10月 9:00 ~ 17:00 (入園は16:30まで)
11月~1月 9:00 ~ 16:30 (入園は16:00まで)

[休園日] 毎週木曜日

4月第1, 2とGW、お盆、祝日の場合は開園
年末年始(12月28日~1月4日)

[入園料] 大人500円 / 団体(20名以上) 400円
冬期(12月~2月) 一大人300円 / 団体240円
年間パスポート(購入日より1年間有効) 2,100円
高校生以下・70歳以上は通年無料

[交通案内]

バス：富山地鉄バス JR 富山駅から「ファフォーレ経由萩の島
循環」または「ファフォーレ経由速星行き(休日のみ)」
に乗車し、「中央植物園口」下車、徒歩約15分

車：富山市中心部より約15分

北陸自動車道富山ICより約15分

JR 速星駅より約8分

友の会 会員募集

[特典]

- ①友の会会員証で無料入園
- ②会員限定行事への参加
- ③「友の会会報」と「植物園だより」を年4回お届け
- ④メールで最新情報をお届け
- ⑤印刷物やグッズの割引価格購入
- ⑥部会活動への参加

[会費] ※有効期限は入会から翌年3月31日まで。

一般会員 / 2,500円

シルバー会員 / 1,500円 (4月1日時点で70歳以上の方)

ジュニア会員 / 500円 (4月1日時点で高校生以下の方)

賛助会員 / 20,000円 (一口)

[入会のお申込み]

入園口で直接、もしくは専用郵便振替用紙にて郵便局でお手続き
ください。詳しくはホームページをご覧ください。

富山県中央植物園だより No.104

令和4(2022)年6月25日発行

編集・発行 / 富山県中央植物園

(指定管理者：公益財団法人 花と緑の銀行)

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187



<https://www.bgtyam.org/>

公式 Instagram